



ROTARY CLUB OF
NARA—WEST
DISTRICT WEEKLY BULLETIN
2650 No. 2410 2020. 11. 19

創立 1969年(昭和44年)12月13日
例会日 毎週木曜日18:00より
事務所 〒630-8001 奈良市法華寺町254番地
例会場 奈良ロイヤルホテル内
TEL 0742-34-1131 FAX 0742-30-2000

2020～2021年度
国際ロータリーのテーマ



2020～2021年度
地区のスローガン

ロータリーの原点に戻る
誠意をもって語り合い、勇気をもって共に未来へ



国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク

RI第2650地区ガバナー
松原 六郎

佃会長
願いは叶う

植野会長エレクト
卒業生に贈った篆刻のいろいろ

会 長 佃 尚彦	副 会 長 有馬 康明	会長エレクト 植野 洋志	直前会長 安井 清悟	幹 事 金田 宗寛
会 計 井上 直治	会場監督 相澤 万裕子	理 事 松山 悦啓	理 事 松中 隆	理 事 中井 肇一
理 事 川崎 祥記	会報委員長 竹田 知弘			

歓迎 国際ロータリー第2650地区 松原 六郎ガバナー御一行様
奈良西ロータリークラブ 会員一同



2020～2021年度
国際ロータリー第2650地区
松原 六郎ガバナー
(福井フェニックスロータリークラブ)

●ガバナーご経歴

生年月日 1951年(昭和26年)6月26日生
最終学歴 1983年3月 金沢大学 大学院卒業
職業 公益財団法人 松原病院 (代表理事)
職業分類 脳神経科

■ロータリー歴■

【クラブ関係】

1993年1月26日 福井フェニックスロータリークラブ入会
1997-98年度 国際奉仕委員長
1998-99年度 社会奉仕委員長
2003-04年度 会長
2012年9月15日 IM実行委員長

【地区関係】

2001-02年度 地区世界社会奉仕委員長
2002-03年度 地区ポリオ撲滅募金キャンペーン委員会委員長
2005-08年度 ガバナー補佐
2011-12年度 地区研修委員会副委員長
東日本災害復興支援特別委員会委員

【その他】

ロータリー財団メジャードナー、ベネファクター、
ポールハリスソサエティ

【その他 受賞歴】

1999年3月 レイシーRI会長賞受賞(大阪合同地区大会にて)
2002年4月 RI会長賞受賞
「ポリオのない世界を目指す地域奉仕賞」
(ルイス・ビンセント・ジアイRI会長)
2006年4月 拡大功労賞受賞(ガバナー賞)

■職 歴■

1977年4月 金沢大学医学部附属病院 神経科精神科勤務
1983年4月 福井医科大学医学部 神経精神医学教室 講師
1992年5月 公益財団法人松原病院 代表理事 現在に至る
2000年11月 医療法人福井心のクリニック 理事長 現在に至る

【団体職】

公益社団法人日本精神科病院協会 理事
公益社団法人日本精神神経学会 代議員
日本航空宇宙精神神経学会 事務総長
公益社団法人福井被害者支援センター 理事長
認知症の人と家族の会福井県支部 支部代表
福井県精神科病院・診療所協会 会長
更生保護法人福井福田会 理事

第13回(2410回)例会プログラム令和2年11月19日(木)

1. 開会宣言 点鐘
2. ソング 「君が代」「奉仕の理想」
3. 来訪者紹介
4. 出席報告
5. ニコニコ報告・幹事報告
6. 会長の時間
7. 卓話:「ガバナーアドレス」
国際ロータリー第2650地区
松原 六郎 ガバナー
8. お礼のこたば(平城京RC会長)
9. 閉会宣言 点鐘

■公式訪問スケジュール

15:30～ 16:30 奈良西RC会長・幹事・役員懇談会
16:40～ 17:40 平城京RC会長・幹事・役員懇談会

■同行者 ガバナー補佐 武藤 廣茂様

第12回(2409回) 例会報告 2020. 11. 12

ソング

「我等の生業」

来訪者紹介

武藤 廣茂様 第2650地区ガバナー補佐

出席報告

	会員数	出席計算 免除会員数	出席会員数	欠席者数	出席率
通 算 2409 回	43	7/11	32/32	0	100.0%
通算2407回修正	43	7/11	32/32	0	100.0%

会長の時間 (佃会長)

みなさんはインフルエンザの予防接種はお済みでしょうか？私は終えています。予防接種も大事ですが免疫力アップをするのはいかがでしょうか。唾液の分泌量を増やして免疫力をアップしましょう。耳下腺を刺激します。顎下腺を刺激します。舌下線も刺激します。これを毎日1回続けると免疫力がアップします。詳しくはお隣に座っておられるお医者さんや歯科医師さんに聞いてください。わたしは3年位時々やっています。よく出るようになってきてお茶など汁物なしで夕食が摂れるようになってきました。しかし太るかも。

さて私の友人の中堅スーツメーカーの社長は資金が枯渇しなければ倒産にはならないと言っていました。もっともな話で資金が枯渇さえしなければ今の時代は優秀な人材を獲得できるいい機会であります。もっとも人手不足の時に採用した優秀でない人材を今のコロナ不況時に職を失っている優秀な人材に置き換えるということは道義上どうかということにもなりますが。また社員の意志を一つにまとめやすいなどとにかく資金を枯渇させず仕事を確保できれば色々容易にチャンスが転がっていると思います。しかしこのコロナ禍ではどこで社員やその家族がウィルスをもらってくるかわかりません。普段は考えなくてもいい衛生面の対策も社員に徹底させなくてはなりません。ハンカチを忘れた人も手を洗うように私のところではペーパータオルを設置しました。冬場SAでは7割の人が手を洗わない。非接触噴霧器の設置や換気扇の常時運転、窓の常時解放、社用車にアルコールの設置などを行っています。これから寒くなるのでみなさんも対策頑張ってください。以上で会長の時間といたします。

ニコニコ報告

佃尚彦会長

武藤ガバナー補佐、本日はよろしくお願ひします。

林秀彦P会長

武藤ガバナー補佐をお迎えしてクラブアッセンブリーのご指導いただき有りがとうございます。また卓話も楽しみにしております。

三木武彦P会長、中西吉日出、谷垣嘉輝会員、有馬康明P会長、松山悦啓、植野洋志、金田宗寛、東山光秀、植野教夫、野阪幸男、寺田信弘、福川益則会員

武藤ガバナー補佐、本日はお越しいただきありがとうございます。クラブ協議会のご指導よろしくお願ひいたします。

安井清悟P会長

今日のクラブ協議会よろしくお願ひいたします。月曜日の会長会に出席いただきましたP会長様、ありがとうございました。

武藤廣茂ガバナー補佐様

本日はガバナー公式訪問事前アッセンブリーにおじゃま致しました。実りある時間になることを祈念しております。

会員夫人のお誕生祝

■11月生まれ■

猪上正孝会員夫人	イツ子様	11月3日生
中西吉日出会員夫人	弘子様	11月14日生
植田良壽会員夫人	君江様	11月18日生
美並義博P会長夫人	慶子様	11月19日生
笹本麻琴会員夫人	まゆみ様	11月20日生
吉村信男P会長夫人	ひろこ様	11月23日生
福川益則会員夫人	昌代様	11月26日生

皆様おめでとうございます

出席表彰



■11月出席表彰■

吉村信男P会長 (在会27年)
有馬康明P会長 皆出席1年 (在会16年)
大濱正徳P会長 (在会15年)

幹事報告 (金田幹事)

- 1 例会変更情報は、おもての座席表と共に掲示しております。また、ホームページの会員ページに掲載しておりますのでご覧下さい。
- 2 次週11月19日の例会は、ガバナー公式訪問となっております。平城京RC様と合同で行います。
ガバナーのお迎えしていただける会員様は、14時30分に奈良ロイヤルホテル前に集合願います。
会長幹事役員懇談会は、15時30分からとなっています。ガバナーとの懇談会に参加される会員様は、時間厳守をお願いいたします。
尚、当日は、紺色の制服で着用をお願いいたします。ネクタイも併せて、お願いいたします。
また、マスク着用で、お願いいたします。
- 3 次々週11月26日の例会は、定款細則8-1-Cにより、休会となっております。
皆様、お間違えの無き様、よろしくお願い致します。
幹事報告は、以上となっています。

米山記念奨学会



米山記念奨学会より感謝状が贈られました。

大濱 正徳P会長 第2回 マルチプル
植野 教夫会員 第6回 マルチプル

ロータリー財団表彰



2019-20年度「Every Rotarian, Every Yearクラブ」、
「100%ロータリー財団寄付クラブ」として認証され、
国際ロータリー財団よりクラブバナーが贈られました。
また、End Polio Now:「歴史をつくるカウントダウン」
キャンペーンの感謝状が贈呈されました。

「コロナ禍での職業奉仕」

奈良第一グループ

2020～2021年度 ガバナー補佐 武藤 廣茂様

今年は2月ごろから始まった新型コロナウイルスの感染拡大に世界中が振り回され、その猛威は未だ収束を見せておりません。皆様におかれましては先の見えない不安な毎日を過ごしておられることと存じます。今までの「当たり前の生活、日常が一変し未だに不自由な生活を余儀なくさせられています。

松原ガバナーも本年度の地区スローガンの中で3つの方針として新型コロナウイルスの感染症対応について強く訴えておられます。ガバナー公式訪問もお一人で回っておられ、食事も別食で摂られ、皆様への感染予防に最大限の注意を払っておられます。さて本日のテーマであります「コロナ禍での職業奉仕」について私なりの思いをお伝えしたいと存じます。

まず最初に、私の職業についてお話させていただきます。

職業分類は幼稚園ですがその他に保育園、認定こども園などを運営させていただいております。

今私が申し上げた子どもの施設の違いお判りでしょうか？多分多くの方はみんな同じと思っておられるのではないのでしょうか。

簡単に違いを申し上げますと、幼稚園は文科省、保育園は厚生省、こども園は内閣府と所管が違い、目的とするところも若干違います。

この度のコロナ禍では皆さんご存じの通り、小学校以上は基本、休校になりました。しかしながら、私どもの施設は先ほど申し上げた通り目的が違うため対応もそれぞれに異なりました。国や地方自治体の意向は、幼稚園は登園自粛、保育園は基本開園してください、こども園はその両方に対応してください。とのことでした。私の法人ではその意向を汲んですべての園を開園いたしました。

その状況下での今、保育現場はどのようになっているか？手洗い消毒の徹底、マスクの着用、国が進める新しい生活様式の推進、いわゆる三密を避けることが大切とされています。しかし子どもたちにとっての一日、一週間、一年は大人の時間とは違います。三密はダメと云われるけれど、子供の成長には密接は必要です。子どもは触れ合うことで成長して行きます。子どもの遊びは「学び」であり人間としての様々な力はこの時代に育まれます。色々な問題を抱えての毎日です。

職員は一日中、マスクを着用し(マスクしか着用できず)、作業をしたり子どもと走り回り保育をします。おもちゃや家具、環境を毎日何回も消毒します。朝、夕の検温、体調のチェック(子供・親、職員も含めて)。子どもの分散化を図るため先生の不足になります。超過勤務が起こります。

保育士も生身です。家族もいます。感染症へのストレスも大変なものです。行事内容の見直し、変更等の作業等。

休園児宅への訪問 子どもの声を聴き、顔を見るなど安否の確認 肉体的、精神的、ネグレクトなど虐待はないか、親は大丈夫か？等々です。毎日、職員たちは多忙な日々を送っていますがそれでも今、自分たちに来ることは、マスクを着け、頻繁に手を洗い消毒し、不必要な三密を避けることを愚直に継続することが子供のためになる唯一の方法だと認識しております。

私の仕事の話はここまでといたしまして、次にロータリーの職業奉仕の話を少しさせていただきます。

皆様もよくご存じの話ですが、ロータリーの職業奉仕で有名なアーサー・フレデリック・シェルドンが1921年の第10回エディンバラ国際大会においての職業奉仕に伴うスピーチで、靴屋の話をしておられます。世界中の靴屋が一か所に製造器具と共に集まり、それが突然、何かの災害で全部なくなったら、みんな靴なしで歩くことになった。はだして歩くことは大変です。そのとき社会は初めて靴屋さんが如何に世の中の役に立っているか、職業を通じたサービスをしているかがわかるだろうと言っています。

この度、緊急事態宣言下において、今までの「当たり前」が通らずいろいろと不自由なことがたくさんありました。先ほどのシェルドンの話にも共通するものがあるかと思えます。



一方それでも我が国においては基本的な社会機能が維持されたことは、医療関係者、福祉関係者に限らず電気、水道、ガス、また鉄道・運輸などのライフラインやスーパーマーケット・コンビニなど物流に携わる人々などが、各々の「みずからの職業」を誠実に懸命に果たしてこられた賜物であろうと思います。

因みに「当たり前」とは語源をたどると、もともと収穫や漁獲などを共同作業して行った場合に、一人当たりの分け前を「当たり前」と言ったようです。「この作業には自分も協力したのだから、分け前を受け取るのは当然の権利」と考える。ここから、現在よく使われる「当然」という意味が生じたとされています。これは先日読んだモラロジーの冊子に書いてありました...

今、私たちが「当たり前」という言葉を使うとき、どこかに「これは当然の権利だ」といった思いがあるのではないのでしょうか。

蛇口を捻れば、水が出る。停電の心配もせず電気を使える、お店に行けば物が自由にお客に買える等々は当たり前。便利で快適な暮らしは保障されてしかるべき、と思っていませんか？

この度のコロナ禍にあっても私たちの生活は様々な人々の尽力のお陰で、日々の暮らしが成り立っていることが改めて確認することが出来ました。そして、ついつい何事も当たり前になり、当然の権利だと思いがっていたことも反省させられました。

いつも感謝の気持ちを持ち、また伝え伝えていくことが大切なことであると今一度見つめなおすときかと存じます。

国は職業内容によって区分けをしていますが我々の仕事に携わるすべて人々はエッセンシャルワーカーで必要があります。

大変な時ですが、日ごろ職業奉仕を標榜する我々ロータリアンが今こそ本領を発揮し、それぞれの「生業」をもって社会に貢献する、派手なことではありませんがそれが今の私たちの出来る職業奉仕ではないかと思っております。

最後までご清聴頂きまして誠にありがとうございました。





第14回（通算2411回）例会予告
例会日 令和2年12月3日（木）

第6回理事会

年次総会

卓話：「会長ノミニー卓話」

◎11月26日は休会です